

平成 29 年度スーパーコンピュータ共同研究制度 若手・女性研究者奨励枠 募集要項

概要：

京都大学学術情報メディアセンター（以下、センター）では、「学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点（以下、JHPCN）」活動の一環として、

- (1) 40 歳未満の若手研究者（学生を含む、性別は問わない）
- (2) 女性研究者（年齢は問わない）

を対象とした利用者向けの奨励研究制度を実施します。応募された課題に対して、センターの「スーパーコンピュータシステム共同研究企画委員会」及び JHPCN の委員会で審査の上、20 件程度の優れた研究提案を採択し、採択された課題の利用負担金の全部または一部をセンターが負担します。採択課題については、年度末に研究報告書の提出、研究成果発表の際に本制度を利用したことの明記、および、本センターが発行する全国共同利用版広報の原稿執筆が、それぞれ義務として課せられます。この他、JHPCN シンポジウムでの成果発表等、JHPCN 活動に対する積極的なご協力もお願いすることとなります。

応募資格：

- ① 平成 29 年度においてスーパーコンピュータシステムの利用資格を有すること。
- ② 平成 29 年 4 月 1 日現在で満 40 歳未満または女性（年齢は問わない）であること。

利用条件：

- ① スーパーコンピュータシステムのパーソナルコース（タイプ A, B, C, E）の費用の全額、または申請者自身が唯一の利用者であるようなグループコースの費用の一部（10 万円）をセンターが負担します。
- ② 渡日後 6 ヶ月未満の外国人留学生及び海外在住者の場合、許可申請が必要となる場合があります。詳細は、以下に記載のとおりです。

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/comp/apply/other/gaikokujin.html>

該当される場合は、事前に研究情報掛までご相談ください。

- ③ 採択者には下記の報告・発表が義務付けられます。
 - ・ 共同研究報告書の提出（平成 30 年 4 月末日締切）
 - ・ 本センターの全国共同利用版広報への成果記事投稿（A4 判 2 ページ程度、平成 30 年 8 月末日締切）
 - ・ 採択課題に関する研究成果を学術論文誌等において発表する場合、本制度を利用したことを明記する義務があります。また、発表後に研究情報掛まで当該文献情報を随時連絡してください。

※表記内容については「共同研究制度利用の表記について」をご覧ください。

採択基準：

スーパーコンピュータを利用することで、学術的にインパクトがある成果を創出できると期待される課題、並びに将来 JHPCN 課題に発展することが期待される課題を積極的に採択します。また、スーパーコンピュータの性能や利用効率の向上が期待されるソフトウェア開発に関する課題も歓迎します。なお採択課題によるシステムの利用状況およびその成果の内容や発表状況は、来年度以降に本センターが実施する共同研究の採択審査の際

に参考にさせていただきます。

申込み：

申込書に必要事項を記入した Word ファイルを、e-mail で研究情報掛までご送付ください。
締め切りは**平成 29 年 4 月 21 日(金)17:00** といたします。なお、記載された個人情報については、本申請に関する事のみについて利用させていただきます。

申請および問合せ先：

京都大学 企画・情報部 情報推進課 研究情報掛
comp-info@kudpc.kyoto-u.ac.jp

平成 29 年度スーパーコンピュータ共同研究制度
若手・女性研究者奨励枠 課題申込書

氏名（ふりがな）			
所属（学生は所属研究室）			
所 属 の 連絡先	住所	〒	
	電話番号		
	e-mail		
身分			
上記身分の入学年月 （外国人留学生のみ）		年 月	
生年月		年 月生まれ	
応募枠（若手研究者の場合は 年齢をご記入ください）		☐ 若手研究者（平成 29 年 4 月 1 日現在） ☐ 女性研究者	
利用者番号（ある方のみ）			
研究課題名			
新規・継続の別		☐ 新規 ☐ 継続 ※ 昨年度採択者は継続を選択	
申請コース	コース種別	タイプ	ノード数 (ソケット数)
	パーソナル（無償）	☐ タイプ A ☐ タイプ B ☐ タイプ C ☐ タイプ E	
	グループ（有償）	☐ タイプ A1 ☐ タイプ A2	
		☐ タイプ B1 ☐ タイプ B2	
		☐ タイプ C1 ☐ タイプ C2	
☐ タイプ E1 ☐ タイプ E2			
■ 目的（スーパーコンピュータを利用する必要性を記述してください。）			

■利用計画

■想定される成果

■研究業績（本提案に関連する論文を最近のものから 5 編まで記述してください（著者、題目、誌名、巻号、ページ、発表年）。継続課題につきましては、前回の利用で得られた成果との関連についても記述してください。）